

雌阿寒岳噴気活動

最近 2-3 年間では大きな変動は見られない

2006. 3 および 2008. 11 の噴火前後で、96-1 火口の放出量・組成には大きな変動があるが、温度は比較的安定。放出量は 2009 年に一時的に増大したが、最近では 2006 年噴火前と同程度。96-1 火口のガス組成は変動が大きいですが、2012-2014 は比較的安定している。中マチネシリ火口は温度、組成ともに噴火に関わらず安定している。

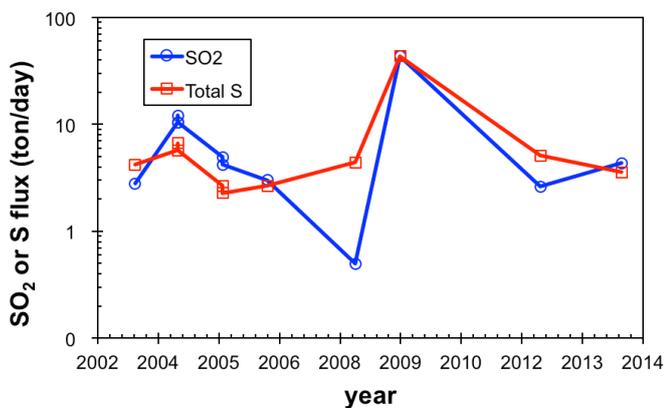


図 1 SO₂ および Total S 放出量の変化

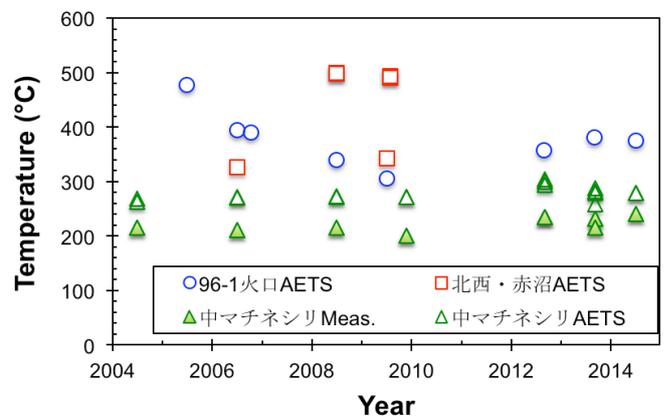


図 2 噴気孔温度 (Meas.) および見かけの平衡温度 (AETS) の変化

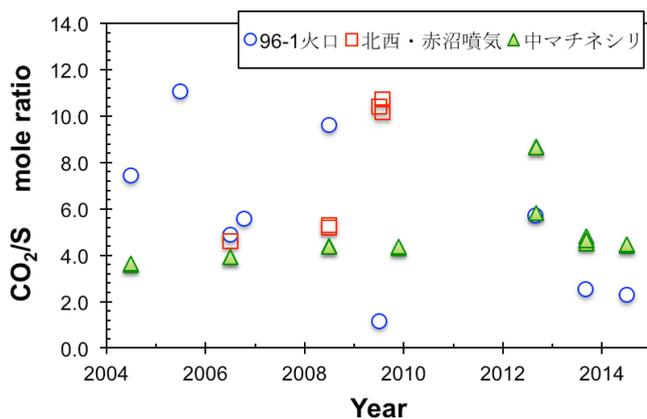


図 3 火山ガスの CO₂/S 比の変化

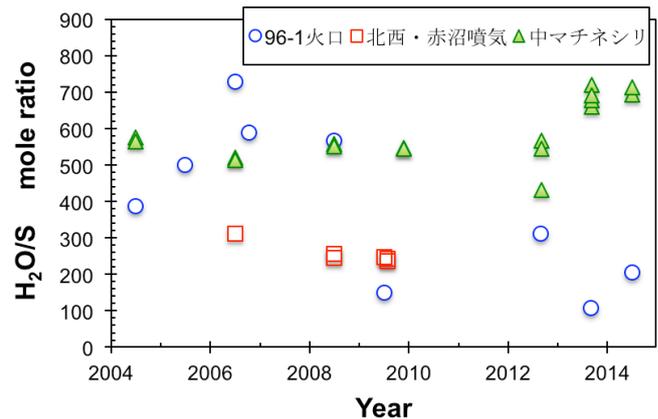


図 4 火山ガスの H₂O/S 比の変化